

今月のデスク活動

個別相談を実施中！

秋の展示会シーズンを終え、展示会などのイベントはございませんが、引き続き企業様からのご相談をオンラインでお受けしております。先月も年末の繁忙期にも関わらず、お時間の合間を縫ってご相談頂きました！
今回も、相談を希望された企業様のケースを皆様へシェアいたします。

【相談事例①】

ガラスコート剤メーカー様「マレーシアへ向け、改めて販路開拓がしたい」

⇒利用メニュー 販路開拓支援

過去お取引があったマレーシアですが、取引先企業の組織変更、コロナに伴い販路が止まってしまったので改めて開拓したいとご相談を頂きました。過去の取引や販路開拓の活動及び、製品について色々とヒアリングをさせて頂き、今後の動きについてご提案。まずは、確度が高そうな過去お話をされていた企業へのアプローチを行い、反応を見た上で範囲を広げていくこととなりました。マレーシアデスクと連携を取りながら動いて参ります。

【相談事例②】

食品メーカー様「新製品を売り込むための情報収集がしたい」

⇒利用メニュー 事前準備支援（情報収集）

タイとシンガポールに向け、開発中の商品を売り込んでいきたいとのご要望があり、2ヶ国を対象に商品の市場、小売店での販売状況及び価格、ディストリビューター等を現地在住スタッフが調査し、レポートにして情報提供を行いました。

調査例：タイの焼き芋市場



トレンド：テイクアウトの焼き芋の価格

- ・ タイでも元々、炭火の焼き芋があり、常設市場や路上でも見られる。バナナやもち米のお菓子などと一緒に焼かれていることも多い。タイ在米種で価格は200g 20/パック程度と安価である。
- ・ タイではサツマイモは焼き芋より調理に手間のかからない「ゆで芋」のほうが一般的である。ゆでトウモロコシやゆで落花生などと並べて売られ、価格は焼き芋と同程度である。



出典 <https://www.pexels.com/photo/roasted-sweet-potatoes-in-a-market-stall-10888888/>
※本記事はあくまで参考情報です。詳細情報は現地の人材調査を通じて、最新情報をお客様に提供いたします。調査・発行・印刷の権利はすべてBIZLABに帰属します。



製品事例：焼き芋のレトルト商品

- ・ セブンイレブン：タイのコンビニの9割シェアを占める。SUN FOOD社が生産するセブンオリジナルのレトルトパウチの焼き芋を販売。

売り場写真：
冷蔵庫のデザート棚



出典 現地調査 SUN FOOD
※本記事はあくまで参考情報です。詳細情報は現地の人材調査を通じて、最新情報をお客様に提供いたします。調査・発行・印刷の権利はすべてBIZLABに帰属します。



小売価格：スーパーマーケット（Rimpingリンピン）

生のさつまいもの価格（日本産）
1/パック（2本）399฿
※焼き芋売り場で販売

生のさつまいもの価格（タイ産）
80฿/1kg
※青果売り場で販売



出典 ***
※本記事はあくまで参考情報です。詳細情報は現地の人材調査を通じて、最新情報をお客様に提供いたします。調査・発行・印刷の権利はすべてBIZLABに帰属します。

（文責：株式会社日本アシスト 大畑 満帆）

現地からお届け！ 最旬情報 -台湾編-

新型コロナの影響で渡航が出来ず、現地の生の情報がリアルタイムで入って来ることが難しくなっていました。そんな皆さまの為、毎月各国の「旬」な情報を現地からお届けいたします！ 第5回は台湾デスクよりお届け。最新の台湾の状況、入出国の条件、2022年を振り返る重大ニュースなど、疑問にお答えします。



「ようやく終焉の兆し？台湾の現状」

往来復活！渡航者が増えてきた台湾

台湾では、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて、厳しい渡航制限、水際対策がとられてきましたが、本年9月22日の政府発表を皮切りに、段階的に緩和措置がとられはじめました。10月13日からは、従来あった入国時の防疫ホテル等での隔離が廃止され、入国日+7日の自主防疫期間※1のみが実施されるようになりました。また、従来制限があった毎週ごとの入境上限者数についても、12月10日以降は撤廃となっています。

2022年12月現在、ワクチン3回接種有無にかかわらず、入国の際の陰性証明は必要ありません。但し、日本へ帰国する際には、日本の入国基準に照らし、ワクチン非接種の方は72時間以内の陰性証明書の準備が必要です。台湾内でも当日または翌日に検査ができる、日本向けの陰性証明書を発行してくれる医療機関が多数ありますので、該当する方は忘れずに出国前PCR検査を行いましょう。検査及び証明書発行の相場は3000～5000台湾ドルになっています。

また、中央感染症指揮センターは、中国での感染急拡大を受けて、2022年12月28日の発表で来年1月1日から31日までの1か月間は中国からの渡航者に関しては入国時のPCR検査を実施すると発表しました。2023年の旧正月期間に合わせて里帰り等の渡航者の増大にあわせた特別措置で、香港やマカオからの直行便での入国者は対象外になります。

※自主防疫期間…一定のルールに沿って行動を行うことが推奨される期間。詳しくは公益財団法人日本台湾交流協会 (<https://www.koryu.or.jp/>) ホームページを参照ください。

※ルールは適宜変更になることがあります。出発前には必ず最新情報を得るように心がけてください。

0+7 自主防疫期間之防疫規範

應遵守：

- ◆ 入境當日或自主防疫第一天(D0/D1)，或匡列為接觸者當天以家用快篩試劑進行快篩
- ◆ 自主防疫地點以符合1人1室(獨立衛浴)條件之自宅或親友住所或旅館為原則
- ◆ 儘量避免接觸重症高風險對象(包括65歲以上長者、6歲以下幼童、免疫不全及免疫力低下者等)
- ◆ 有症狀在家休息，並以家用快篩試劑進行快篩
- ◆ 禁止前往醫院陪病、探病，建議延後非急迫性需求之醫療或檢查，並避免前往長照機構

外出時：

- ◆ 外出需遵守本規範
- ◆ 需有2日內家用快篩陰性結果才可外出
- ◆ 外出、上班、上學期間全程佩戴口罩，維持社交距離，有飲食需求可暫免佩戴口罩，並於用畢後立即佩戴口罩
- ◆ 有用餐需要，得於餐廳內獨自或與特定對象共餐。離開座位時及餐點用畢後應立即佩戴口罩

快篩陽性時：

- ◆ 應儘速就醫，可透過遠距/視訊診療、委由親友或由地方政府衛生局安排至診所或負責居家照護之責任院所(含衛生所)評估快篩陽性結果
- ◆ 確診之輕症個案可於加強型防疫旅館、集中檢疫所或原自主防疫地點(不含一般旅館)進行居家照護
- ◆ 如有就醫需求，可自行開車、騎車、步行、家人親友載送(雙方全程佩戴口罩)或依地方衛生局安排就醫。就醫時請佩戴口罩且禁止搭乘大眾運輸工具前往

2022/09/29 中央流行疫情指揮中心

自主防疫期間の行動規範が細かく設定されている。

出所:中央感染症指揮センター

市中の様子と滞在中の注意

水際対策が緩和されるにつれて、日本や諸外国からの出張者や観光客も増えてきました。現地で生活している中で、自分自身の肌感としては、日本からの出張者に関してはかなり増えてきていると感じますが、観光客に関しては増えてはいますが、ビジネス客よりはかなり少ないという印象です。やはり手軽になったとはいえサーチャージやチケットの高さや、もし滞在地で感染した場合の対応（台湾の場合、現地で感染した場合は、5日間の在宅隔離期間が必要になります）などを鑑みると、まだ観光目的で動くことができない方も多いのかもしれませんが。

台湾入国後ですが、12月1日より、屋外でのマスク着用は解除となりましたが、室内では以前マスク着用は必須で、公共の交通機関等もマスク無しでは乗車不可です。食事の時、カラオケや写真撮影のタイミング、等では一時マスクを外すことは認められていますが、指定の場所・タイミングでマスクをしていない違反者の場合、最高で罰金も課せられますので、必ず着用してください。



出所：筆者撮影

2022年の台湾重大ニュース

2023年以降の台湾を占う為の予備知識として、2022年の台湾の主要ニュースを振り返ってみました。台湾の通信社CNAが発表した2022年の10大ニュースによると、1位は8月のペロシ米下院議長の来台でした。台湾を訪れた米国の要人としては過去25年の中では最高位。他にも12月の台湾に対する同盟国待遇の内容が入った法案へのバイデン大統領の正式署名等から、中国は複数回の軍事演習を行いました。このような状況下、台湾は中国の脅威が高まっているとして18歳以上男子に義務づけている兵役を2024年からは現行の4か月から1年に延長することを決めています。ロシアによるウクライナ信仰もその機運が高まる影響となっていると言われています。

中国との問題は、経済領域でも発生しました。日本でも多く報道があったかと思いますが、2021年から中国への輸入が禁止されている台湾産パイナップルに続いて2022年6月には台湾産の高級海水魚ハタについても輸入が一時停止となりました。その他にも台湾産ビールやコーリャン酒等、輸入の一時停止や追加資料の提出要求がなされた食品は数百品目に上っています。これらの状況をうけ、台湾は日本に向けての台湾産パイナップルやハタ等の輸出に力をいれています。日本の回転寿司大手チェーンくら寿司が台湾産ハタを輸入し2023年から日本全国の店舗で提供するニュースも12月に発表されました。

そんな中、台湾では11月、4年に1度の22県市の首長や議員を選ぶ統一地方選が行われました。野党である国民党が13県市で勝利した一方、与党である民進党の首長ポストは5県市に減り、与党の大敗という結果に終わりました。これをうけて民進党主席である蔡英文総統は党首を引責辞任しました。より生活に密着したミクロなテーマが投票に影響する地方選とはまた異なりマクロな思想やイデオロギーが投票結果に影響を及ぼすと言われる総統選も2年後の2024年に控えており、これからも目が離せません。

コロナによる行動規制の緩和がようやく始まりだした2022年も残すところあとわずかですが、2023年は更に大きく人々の生活が変化する年になりそうです。(文責：桔想国際有限公司 運営総監 COO 網本 ※12月29日執筆)